

きみがき圭子 やない克子 区議会ニュース

2022年第二回定例会 報告号

2022年6月1日(水)～6月21日(火)練馬区議会第二回定例会が開催されました。

◆「障害者の意思疎通の促進と手話言語の普及に関する条例」を制定

区議会第二回定例会に提出された「障害者の意思疎通の促進と手話言語の普及に関する条例」の議案は、全会派一致で可決、成立しました。

共生社会の実現をすすめよう

目指すのは、障害者一人一人の障害特性に応じた多様な意思疎通手段を充実することで、障害者の社会参加の促進、障害の有無にかかわらず誰もが人格と個性を尊重し合う共生社会の実現です。



区民からの意見で名称変更！

2021年3月から検討が始まった「練馬区障害者の意思疎通に関する条例」。約1年かけて検討が進められました。2022年2月に示された素案に対して、区民意見募集制度による意見は20名・10団体より126件。「手話が言語であることを明記すべき」という意見が多数寄せられ、内容をより明確に表すように「**障害者の意思疎通の促進と手話言語の普及に関する条例**」という条例名になりました。

条例制定でさらに区民の理解促進を

区は、7月に区民・事業者向けに様々な生活場面ごとに具体例を示したコミュニケーションガイドブックを作成します。このガイドブックを活用し、小売店などの事業者向けの研修や区民向けの「(仮称)コミュニケーションパートナー養成講座」を実施する計画です。

◆コロナ禍における区民や事業者を支援する補正予算、約31億円

私たちが注目したところは…

物価高騰は子どもたちの給食を直撃

ロシアのウクライナ侵攻をきっかけに、エネルギー供給や食糧危機、物価上昇が世界規模の問題になっています。給食食材も例外ではありません。子どもたちの成長にも影響する給食。

食用油の値上がりは揚げ物の調理方法を、小麦の値上がりは米飯へのメニューに変えるなど栄養士をはじめ学校現場では、給食の質を落とさないように大変苦慮しているとのこと。しかし、それも限界。このままでは、給食の質、量にも影響がおよぶとして、**小学校で1食あたり15円、中学校では13円を区の財政で負担**することになりました。ただし、4月から9月までの半年分。その後は社会状況の変化を見ながら検討とのこと。

これを機会に、少なくとも義務教育の給食は無償化し、税金を充てるよう区は、法改正も含めて国に働きかけてほしいと考えます。

項目	予算額
1. 感染拡大防止と医療提供体制の充実	5億 3,938万円
2. 区民・事業者の支援	23億 1,319万円
3. その他(子宮頸がんワクチンキャッチアップ接種)	2億 8,979万円
計	31億 4,236万円



区議会議員 やない克子

保健福祉委員会／交通対策等特別委員会
ホームページ <https://yanai.seikatsusha.me>



区議会議員 きみがき圭子

議会運営委員会／企画総務委員会
都市農業・みどり環境等特別委員会
ホームページ <https://kimigaki.seikatsusha.me>



廃園計画は寝耳に水

昨年7月2日、保育園隣接の生産緑地の買取申し出があり、区は同月28日には保育所用地として買取ることと決定、その後11月18日には、この土地を民間事業者が無償で貸付け、私立保育所を誘致し2024年に開園、**今ある区立谷原保育園は2026年に閉園する**、ということが短期間で決められました。しかしこの間議会や保護者への報告が全くありませんでした。

保護者に知らされたのは11月22日、次年度の1次入園申し込み締め切り後のことです。その後今年5月までに2回の個別説明会と1回のオープンハウスが開催されただけです。

突然のことに保護者は困惑し、全体説明会を要望してきましたが、区は「丁寧に説明した。もう説明することはない。」と全く受け付けません。



閉園撤回を求める署名は1万筆以上

5月26日の文教児童青少年委員会で、区立谷原保育園の閉園計画の撤回を求める陳情の審査がおこなわれました。閉園の計画には多くの反対の声があがり、陳情の審査時に集まった署名は10,801筆。

質疑では保護者への対応が十分ではないこと、子どもの最善の利益を考えず「途中で転園すればいい」と区が言っていることなどを指摘しました。また「保育は子どもの命に関わる問題」と発言したことに対し、「意味がわからない」と答弁したことには驚きました。区の保育に対する姿勢が問われます。

他の委員からは「区の財政が厳しい中、民間事業者を活用することで人件費などの財政効果があるなら何で協力できないのか」などの意見もありましたが、まだ議論が必要であると、陳情は継続審査となりました。私たちは私立保育園がダメと言っているのではなく、保護者のニーズがあるのに経費削減を目的に、今ある区立保育園を閉園することに納得できません。引き続き計画の見直しを求めていきます。

◆区の計画ありきの稲荷山公園整備は地域住民と見直すべき

稲荷山公園は、白子川沿いの良好な樹林傾斜地の自然環境を保全することを目的として、1957年に約8.02haが東京都市計画公園として都市計画決定されました。

その後1978年に現在の稲荷山憩いの森の一部を追加して約10haに都市計画変更されました。

事業は区主体でできることになり、2017年には清水山憩いの森が区立清水山の森として整備され、昨年は稲荷山公園基本計画(素案)も策定されました。



改訂アクションプランでは、今年度には実施計画の策定、来年度には事業・測量説明会と現況測量が予定されています。しかし整備のために約400世帯が立ち退かなければならず、これについては様々なご意見があります。樹林地についても地域の皆さんがどのように考えるのか、手を加えれば多少なりとも生態系は崩れます。

区は今後専門家による委員会を設置する予定とのことですが、委員会が設置されれば計画ありきですすめられるでしょう。丁寧な説明と十分な話し合いがもたれないまま、地域住民の声を聞かずに進めることには反対です。

ぜひ地域の皆様のご意見をお聞かせください。

<あなたの意見を区政へ>

生活者ネットワークは、地域の課題や生活者の声を集めて、区政につなげています。



information 第三回定例区議会 2022年9月7日(水)~10月14日(金) 予定

きみがき圭子が一般質問の予定。※本会議はインターネット動画配信(生中継)でも傍聴できます。

区議会ニュース第二回定例会報告号 2022年6月22日 発行 きみがき圭子 やない克子
〒176-0001 練馬区練馬 1-15-1-302 練馬・生活者ネットワーク TEL:03-3993-4899
FAX:03-5999-4632 web ページ <http://nerima-seikatsusya.net/>
mail net-gikai@jcom.home.ne.jp ご意見・ご質問をお寄せください

